

No73 開胸手術/胸腔鏡下手術(区域切除以上)を受ける患者様へ

ID @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

| 経過    | 入院日～   | 手術前日  | 手術当日術前  | 手術当日術後   |
|-------|--|---|---|--|
| 月日    | /  | /   | /   | /  |
| 治療や処置 | 入院時にネームバンドを付けます<br><br>   | 髭を剃ってください。  | 内服薬( )のみ朝内服してください。<br>手術30分前になったら弾性ストッキングをはいてください。<br>動かないことで「深部静脈血栓症」や「肺塞栓症」(一般的にはエコノミー症候群と言います)という合併症を引き起こす可能性があります。<br>①弾性ストッキングの装着、血栓予防の機械を足につけます。<br>②足が動くようになったら、積極的に両足首や膝の曲げ伸ばしをしましょう。 | 酸素マスク、心電図モニターがつきます。<br>持続点滴をします。<br>胸の管が入ってきます。<br><br>背中から痛み止めの管が入ってきます。<br><br>痛みが強いときや発熱時は、坐薬や注射を使います。<br>術後1回痰を出しやすくするために吸入を行います。痰は積極的に出しましょう。 |
| 検査や測定 | 手術前に必要な検査を行いません。<br>24時間クレアチニンクリアランス検査を行います。<br>決められた時間尿をためていただき腎臓の働きを調べます。(別紙参照)  | 体重測定をします。<br>口腔外科の診察があります。  | 手術室に向かう前に検温をします。<br><br>  | 手術直後は、15～30分ごと、そのあとは2、3時間おきに検温します。   |
| 食事    | 普通食です。<br><br>医師の指示で治療食となる事があります。  | 夕食までは通常通り食事が出ます。<br>夜9時以降、食事はできません。経口補水液(OS-1)を飲み始めます。(パンフレット参照)  | 午前手術の場合は午前6時30分以降、午後手術の場合は午前10時以降飲水できません。   | 飲食は出来ません。<br>うがいは出来ます。   |
| 清潔    | シャワーをお使いになれます。   | シャワーを浴びてください。<br>胸、脇下にマジックでマーキングをします。   |   |  |
| 排泄    |  |   | 手術室へ入室前に、排尿排便を済ませておいてください。  | 手術中より尿の管が入ってきます。   |
| 活動/外出 | 病院内自由です。   |   |   | ベッド上安静です。寝返りは出来ます。   |
| 説明/指導 | 禁煙してください。<br>禁煙出来ない場合は、手術は中止となります。<br><br><br><br>看護師より手術についての説明があります( /<br><br> | 手術前日、当日に飲んでいただく薬について説明します。<br><br>手術前日までに主治医から手術の説明があります。<br><br>手術室の看護師が病室に伺います。<br><br>手術室に持参するため以下のものを準備してください。<br>・前開きの寝衣一枚<br>・T字帯一枚 | 身に付けているもの(ピアス、かつら、時計、入れ歯、指輪など)をはずして下さい。歩いて手術室へ行きます。<br><br>  | 主治医からの説明があります。<br><br>  |
| その他   |  | 手術前日までに手術同意書、輸血承諾書を書いて看護師に提出してください。   |   |  |

ID @PATIENTID

氏名 @PATIENTNAME

| 経過<br>月日 | 術後1日目  | 術後2日目   | 術後3日目   | 術後4～6日目                                  | 術後7日目～退院まで   |
|----------|--|---|---|--|--|
| 治療や処置    | <p>医師の指示により酸素の量が減ります。</p> <p>食事の摂取量によって点滴の本数が変わります。 1日2回抗生剤の点滴を行います。</p> <p>1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。</p> <p>内服薬(鎮痛剤・去痰剤など)が処方されます。医師の指示により持参薬を再開します。</p>  | <p>医師の診察により術後2～6日目までの間に胸の管が抜ける予定です。</p> <p>胸の管が抜けたら、心電図がモニターがはずれます。</p> <p>背中痛み止めの管を抜きます。医師の指示により、酸素の量が決まります。</p> <p>食事の摂取量によって点滴の本数が変わります。</p> <p>1日2回抗生剤の点滴を行いません。<br/>1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。</p> | <p>1日2回抗生剤の点滴を行ないます。</p> <p>1日3回痰を出しやすくするために吸入を行います。</p>  |  | <p>創の抜糸を行います。胸の管が入っていた所の抜糸を行います。</p> <p>日常生活ができるようになったら退院です。</p> |
| 検査や測定    | <p>採血を行います。<br/>胸のレントゲンをベッド上で撮ります。</p> <p>検温は1日4回行います。</p>    | <p>胸のレントゲンを1階に撮りにいきます。<br/>検温は1日3回行います。</p>   | <p>採血を行います。<br/>胸のレントゲンを1階に撮りにいきます。<br/>検温は1日3回行ないます。</p> | <p>適宜レントゲン、採血があります。<br/>検温は1日3回行ないます</p> | <p>適宜レントゲン、採血があります。<br/>検温は1日3回行います。</p>                         |
| 食事       | <p>レントゲン確認後医師の指示により水が飲めます。<br/>+ 昼から食事が始まります。</p>  |   |   |  |  |
| 清潔       | <p>体を拭きます。</p>   | <p>体を拭きます。<br/>胸の管を抜いた後はその部分に防水テープを貼り全身シャワー可能です。</p>  | <p>管が抜けていない場合は体を拭きます。抜けていればシャワー可能。</p>                    | <p>管が抜けていない場合は体を拭きます。抜けていればシャワー可能。</p>   | <p>管が抜けていない場合は体を拭きます。抜けていればシャワー可能。</p>                           |
| 排泄       | <p>尿の管を抜きます。(トイレに行けます)</p>   |   |   |  |  |
| 活動       | <p>病棟内自由です。</p>  | <p>病院内自由です。</p>   |   | <p>患者さんの状態によって退院日を決めます。</p>              |  |
| 説明・指導    | <p>始めに歩く時は看護師が付き添います。<br/>回復のために積極的に歩きましょう。<br/>胸の管に注意してください。<br/>痰は積極的に出しましょう。</p>  |   |   |  | <p>退院についての説明をします。</p>  |